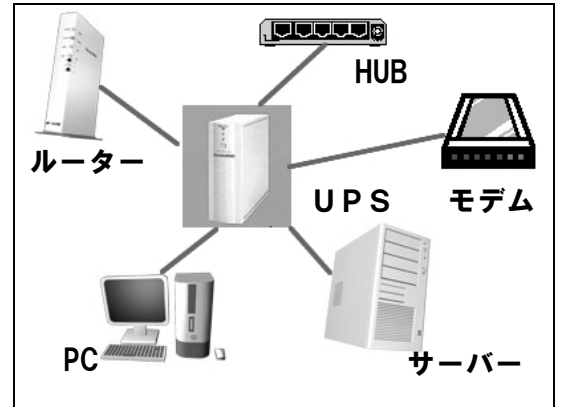


# UPS(無停電電源装置)

## ●UPSで停電からデータを守ろう .....

UPS(無停電電源装置)は、停電が起きて電源の供給がストップしても、しばらくの間はUPS内蔵のバッテリーから電源電圧を供給する装置です。電源が供給されている間に、接続されているパソコン等機器の電源を安全な方法で落とす事が出来ます。UPSに接続する機器として、パソコン・その他周辺機器を例にとると、デスクトップPC本体、HUB、PCサーバー、モデム、ルーター等、突然切れたら困る機器を繋げて使用します。



ノートパソコンでバッテリー付であれば問題はありません。

## 寿命が短いUPSは特に要注意!

### UPS(無停電電源装置)のバッテリー交換は計画的に。

#### バッテリーの寿命

- バッテリーにはいろいろな種類がありますが、30KVA以下の小さなUPSには小型制御弁式(シール)鉛バッテリーが多く使われており、従来品と最近普及を始めた長寿命品があります。使用環境(温度など)によって異なりますが、**従来品1~3年、長寿命品2~5年**を目安として必ず交換してください。
- バッテリーは長年使用していると電気エネルギーを蓄積できる能力が徐々に低下します。UPSに使われるバッテリーの交換時期の目安は、バックアップ時間が購入時の約半分になったときです。それ以降は、短期間に能力が減少します。

#### UPSは計画的な交換を

- UPSは普段と変わりなく働き続けますが、電源の瞬時停電などが発生したときにUPSの出力が止まり、データ消失など取り返しがつかなくなります。さらに、そのまま使用しますと蓄電池の容器が割れたり、中の液が漏れたりし、異臭・発煙・発火などの二次障害を引き起こす原因となります
- バッテリーの交換(**従来品1~3年、長寿命品2~5年**)と、ファンなど消耗品の交換は購入後3年目をめどに、UPSは購入後6年目をめどに買い替えを計画してください。さらに1年に1度の定期点検をおすすめします。      **UPSの耐用年数: 10KVA以下 → 5~6年**

#### UPS・バッテリーの再点検を

**10KVA超 → 6~10年**

- 現在お使いのUPSのバッテリー交換時期をチェックし、交換してください。
- バッテリーは、UPSの他に誘導灯・非常灯などでも使用されていますので、点検をお願いします。